

「校長室の窓から」

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/nishiwakikita-hs/>

令和8年(2026)7月16日(木)

第21号 発行：隈元 優一

☎0795-22-5850/FAX: 0795-22-7359

一人ひとりの言葉が輝いた校内生活体験発表会 一人ひとりの成長と思いが伝わった

7月16日(木)西脇市市民交流施設オリナスにて、校内生活体験発表会を開催しました。発表者の皆さんをはじめ、会場で熱心に耳を傾けてくれた生徒の皆さん、見学にお越しいただいた来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。また、運営にあたった生徒会・放送部の皆さん、発表を支えてくださった先生方にも感謝申し上げます。

今回の発表会では、生徒代表9名が自らの体験や将来への思いを発表しました。

発表の中では、「将来は看護の道に進みたい」「AIにも負けないネイリストになりたい」「社会福祉士として子どもたちを支えたい」など、それぞれの夢や目標が語られました。また、「少しずつ成長を実感できる場面が増えてきた」「毎日遅刻せずに登校することを頑張っている」といった言葉からは、日々の努力を積み重ねる姿が伝わってきました。



▲ 生活体験発表会場の様子

能登半島でのボランティア活動を経験した生徒は、「他人事だった災害が身近な問題になった」「『させていただく』という感謝の気持ちを大切にしたい」と語りました。家庭教師として小学生を教えている生徒からは、「教える立場になって初めて気づく学びがあった」という発表がありました。

また、「支え、支えられる関係を大切にしたい」「相手を思いやって行動できる人になりたい」という言葉には、人とのつながりを大切にする思いが表れていました。さらに、「ギターと出会い自分らしさを見つけることができた」「ライブで歌い終えた時に大きな幸せを感じた」という発表からは、自分の好きなことに挑戦する勇気と喜びが伝わってきました。

アルバイト経験についても、「失敗を前提に行動する」という助言から、物事を客観的に捉えることの大切さを学んだという発表がありました。

発表者に共通していたのは、困難や悩みを乗り越えながら成長してきたこと、そして支えてくれる人への感謝の気持ちです。発表を聞いた生徒の皆さんも、それぞれの言葉に自分自身を重ねながら耳を傾けていました。

勇気をもって自らの経験を語ってくれた9名の発表者に心から拍手を送ります。これからも一人ひとりが自分らしさを大切にしながら、夢や目標に向かって歩んでくれることを期待しています。

なお、今回の発表者の中から、9月6日(日)県立農業高等学校で行われる東播・淡路大会へ学校代表として2名が選出されます。代表者は7月22日(水)の集会で発表があります。更にその次の県大会は10月10日(土)西宮香風高等学校で行われる予定です。